

2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日

上場会社名 株式会社カイテクノロジー 上場取引所 東  
 コード番号 5581 URL https://chitech.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)勝屋 嘉恭  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)伊地知 高之 (TEL)03(6273)0408 (代表)  
 定時株主総会開催予定日 2024年11月28日 配当支払開始予定日 2024年11月29日  
 発行者情報提出予定日 2024年11月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	—	—	—	—	—	—	—	—
2023年8月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年8月期 —百万円(—%) 2023年8月期 —百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 —百万円 2023年8月期 —百万円

(注)当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、連結経営成績については記載を省略しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	2,326	612	26.3	145.74
2023年8月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年8月期 612百万円 2023年8月期 —百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	—	—	—	—
2023年8月期	—	—	—	—

(注)当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、連結キャッシュ・フローの状況については記載を省略しております。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00	12	33.1	1.9
2024年8月期	—	0.00	—	1.50	1.50	6	32.2	1.0
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00		32.3	

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	4,442	—	52	—	61	—	39	—	9.29

（注）当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、対前期増減率については記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社（社名）株式会社H I Cサービス、 除外 — 社（社名）—

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2024年8月期	4,200,000株	2023年8月期	4,200,000株
2024年8月期	—株	2023年8月期	—株
2024年8月期	4,200,000株	2023年8月期	4,200,000株

（参考） 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	3,779	0.2	8	△88.7	32	△41.7	19	△48.7
2023年8月期	3,771	4.1	72	△21.6	55	△35.1	38	△88.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期	4.66	4.60
2023年8月期	9.08	8.97

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2024年8月期	2,264		657		29.0		156.48
2023年8月期	1,779		650		36.5		154.82

（参考） 自己資本 2024年 8月期 657百万円 2023年 8月期 650百万円

2. 個別業績の前期実績値との差異理由

2024年9月18日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(1株当たり情報)	7
(重要な後発事象)	7
4. 個別財務諸表及び主な注記	8
(1) 貸借対照表	8
(2) 損益計算書	10
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 個別財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

## 1. 経営成績等の概況

当社グループは、当連結会計年度が連結初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、貸借対照表のみを連結しているため、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

そのため、(1) 当期の経営成績の概況及び(3) 当期のキャッシュ・フローの概況に関する記載につきましては個別財務諸表に係る数値を記載しております。

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、企業業績及び雇用情勢の改善等に伴い緩やかな回復の動きが見られました。

しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ情勢をはじめとする国際的緊張や世界的な物価の上昇、金融引き締め等による経済の減速も懸念されており、日本経済の見通しは不透明となっております。

経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2024年7月分確報」によると、情報サービス業の売上高は1,275,295百万円となり前年同月比7%増、うち受注ソフトウェアの売上高は736,159百万円で前年同期比10.3%増となり順調に推移しております。

企業や行政などにおけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）領域への投資は拡大しており、当社はこの潮流を成長の機会と捉え、「プラスαで快適（カイテク）な明日へ」というコーポレートミッションを掲げ、その実現のために「採用促進と教育体制の充実」、「IT人材育成サイクル」、「自社プロダクトの強化」の3つの基本方針を軸とした中期経営計画を推進しております。

「採用促進と教育体制の充実」については、第二新卒を含む若手社員の積極採用と、キャリアプラン支援、資格取得奨励制度の充実を進めております。

「IT人材育成サイクル」については、外部案件と自社プロダクト開発参画との社内異動・交流のサイクルを作ることで技術力、開発力の強化を図っております。

「自社プロダクトの強化」については、営業・マーケティングの強化、電子カルテ等の他社システムとの連携拡大による商品力の強化を行っております。

業界環境は好調な一方で、エンジニアの確保は大きな課題となっております。IT人材の確保難を発端とした受注機会の逸失が生じており、エンジニアの採用や育成環境の巧拙に業績が大きく左右される状況となっております。

当社では、採用活動の強化に加え、人事評価制度のリニューアルや資格取得制度の拡充、社内メンター制度の運用などによる社員のエンゲージメントの強化に注力しております。

また、当社は顧客企業からの信頼を向上するため、顧客の将来のニーズを探り、提案・受注を進められるよう営業力の強化を図っております。

パッケージソフト販売においては、クラウド型サービス提供への移行を進めつつ、主要顧客であり、個別のカスタマイズ要求が多い医療機関には従来型のインストール型サービスのバージョンアップ対応も進めております。

このような状況下において、当社の当事業年度につきましては、売上高3,779,316千円(前期比0.2%増)、営業利益8,189千円(前期比88.7%減)、経常利益32,382千円(前期比41.7%減)、当期純利益19,573千円(前期比48.7%減)となりました。

当社はIT関連サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりますがサービス別の概況は、次のとおりであります。

システム開発サービス（SES・人材派遣）においては、若手技術者の稼働率が上がったことから、売上高は2,517,611千円(前期比1.2%増)となりました。

受託開発サービスにおいては、パッケージ販売サービスの顧客導入を円滑に進めるための支援に技術者を振り向けたこと等により新規受注のためのリソースは減少しましたが、売上高は770,952千円(前期比3.7%増)となりました。

パッケージ販売サービスにおいては、新規顧客の拡大と併せてインストール版からWEB版へのリプレイス需要の取り込みを推進しましたが、顧客への浸透を図ることに手間取り、売上高は490,753千円(前期比9.2%減)に留まりました。

また、2024年6月に株式会社H I Cサービス（以下「H I Cサービス」といいます。）の全株式を取得し、子会社化しております。株式取得により、H I Cサービスの優れた人材と、当社の幅広い顧客基盤が掛け合わさることで、

新たなビジネス機会の創出や人材交流によるノウハウの共有などの大きな相乗効果が生まれ、相互の企業価値の向上が図れるものと判断しております。

## （2）当期の財政状態の概況

### （資産）

当連結会計年度末における資産合計は2,326,906千円となりました。主な内訳は現金及び預金が1,179,274千円、売掛金が461,566千円、のれんが191,692千円、顧客関連資産が148,000千円であります。なお、のれんと顧客関連資産は株式会社H I Cサービスの株式を取得し連結子会社化したことに伴い発生したものであります。

### （負債）

当連結会計年度末における負債合計は1,714,808千円となりました。主な内訳は買掛金が117,363千円、社債（1年以内償還社債含む）が509,000千円、長期借入金（1年以内返済長期借入金含む）が589,581千円であります。

### （純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は612,098千円となりました。主な内訳は資本剰余金が132,772千円、利益剰余金が451,125千円であります。

なお、当社グループは、当連結会計年度が連結初年度であり、前期は連結財務諸表を作成していないため、前期との比較は行っておりません。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ106,824千円増加し、1,103,607千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、84,236千円（前期は31,919千円の増加）となりました。資金の主な増加は、税引前当期純利益が32,382千円、減価償却費17,537千円、のれん償却費18,076千円、預り金の増加17,996千円であり、資金の主な減少は、未払金の減少16,307千円によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、406,998千円（前期は2,725千円の減少）となりました。資金の主な増加は、匿名組合出資金の払戻による収入16,803千円、資金の主な減少は、無形固定資産の取得による支出15,114千円、関係会社株式の取得による支出407,447千円によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は、429,587千円（前期は126,485千円の減少）となりました。資金の主な増加は、長期借入による収入400,000千円、社債発行による収入294,981千円、資金の主な減少は、長期借入金の返済による支出119,794千円、社債の償還による支出133,000千円、配当金の支払額12,600千円によるものであります。

#### （4）今後の見通し

2020年以降、国内景気に大きな影響を与えた新型コロナウイルスの感染動向については、行動制限の緩和が進み経済活動は正常化に向かいつつあるものの、ロシアのウクライナ侵攻を発端とした世界的な政治情勢の変動によるエネルギー資源価格、食料価格等の物価の上昇、急激な円安ドル高の進行など、わが国の経済状況は不透明な状況が続いていくと思われれます。

このような状況下、企業にとっても業績影響への警戒感から投資全般には抑制が掛かるとは思われますが、一方で働き方改革・人手不足への対応やデジタル化による自動化・効率化、省力化等のシステム投資は底堅く、さらにDX（デジタルトランスフォーメーション）など戦略的な投資需要は拡大していくものと考えております。

当社グループもこの状況を売上拡大の好機と捉え、システム開発サービス、受託開発サービス、パッケージ販売サービスに経営資源を投入する計画ですが、スキルを有したエンジニアの不足は業界共有の問題であり、エンジニア人材の確保についてはますます困難となることが想定されます。

当社グループは前期より新卒採用と第二新卒採用を中心とした若手人材の確保と育成に注力しており、IT業界の経験は無くとも、意欲の高い若手人材を育成し、早期に営業戦力的化することにより売上の拡大につなげていきたいと考えております。

当社グループの2025年8月期の連結業績は、売上高は4,442百万円、営業利益52百万円、経常利益61百万円、親会社株主に帰属する当期純利益39百万円を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの会計基準につきましては、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）適用及び適用時期等につきましては、当社グループを取り巻く国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

当連結会計年度 (2024年8月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,179,274
受取手形	132
売掛金	461,566
契約資産	29,613
商品及び製品	15,245
仕掛品	14,659
前渡金	19,976
前払費用	27,810
その他	12,146
貸倒引当金	△425
流動資産合計	1,760,000
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	93,243
減価償却累計額	△34,820
建物及び構築物(純額)	58,422
工具、器具及び備品	31,764
減価償却累計額	△19,363
工具、器具及び備品(純額)	12,400
有形固定資産合計	70,823
無形固定資産	
のれん	191,692
ソフトウェア	16,532
顧客関連資産	148,000
その他	973
無形固定資産合計	357,198
投資その他の資産	
繰延税金資産	61,568
その他	77,315
投資その他の資産合計	138,884
固定資産合計	566,906
資産合計	2,326,906

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2024年8月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	117,363
契約負債	83,763
未払金	36,454
未払費用	84,557
未払法人税等	515
未払消費税等	43,789
預り金	40,540
1年以内償還社債	153,000
1年以内返済長期借入金	149,753
賞与引当金	96,702
受注損失引当金	1,521
流動負債合計	807,960
固定負債	
社債	356,000
長期借入金	439,828
資産除去債務	50,646
退職給付引当金	30,832
繰延税金負債	9,520
その他	20,021
固定負債合計	906,848
負債合計	1,714,808
純資産の部	
株主資本	
資本金	28,200
資本剰余金	132,772
利益剰余金	451,125
株主資本合計	612,098
純資産合計	612,098
負債純資産合計	2,326,906



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## (連結損益計算書)

当連結会計年度は連結財務諸表の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、連結損益計算書は作成しておりません。

## (連結包括利益計算書)

当連結会計年度は連結財務諸表の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、連結包括利益計算書は作成しておりません。

## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度は連結財務諸表の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、連結株主資本等変動計算書は作成しておりません。

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

当連結会計年度は連結財務諸表の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

当連結会計年度は連結財務諸表の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、セグメント情報等については作成しておりません。

## (1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	145.74円

(注)当連結会計年度は連結損益計算書を作成しておりませんので、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	996,782	1,103,607
受取手形	2,644	132
売掛金	379,865	420,813
契約資産	64,002	29,613
商品及び製品	4,424	15,245
仕掛品	31,068	14,659
前渡金	19,466	19,826
前払費用	26,715	27,247
その他	4,242	4,210
貸倒引当金	△989	△425
流動資産合計	1,528,222	1,634,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,013	90,013
減価償却累計額	△24,297	△33,298
建物及び構築物(純額)	65,716	56,714
工具、器具及び備品	27,618	30,316
減価償却累計額	△15,390	△18,267
工具、器具及び備品(純額)	12,227	12,049
有形固定資産合計	77,944	68,764
無形固定資産		
のれん	18,076	—
ソフトウェア	7,076	16,532
その他	973	973
無形固定資産合計	26,126	17,505
投資その他の資産		
長期貸付金	715	266
長期前払費用	969	923
関係会社株式	—	407,447
繰延税金資産	72,572	61,568
その他	72,958	72,958
投資その他の資産合計	147,216	543,165
固定資産合計	251,287	629,435
資産合計	1,779,509	2,264,366

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	119,154	117,363
契約負債	67,219	75,909
未払金	40,774	35,070
未払費用	67,392	80,117
未払法人税等	425	425
未払消費税等	28,421	37,417
預り金	14,602	32,599
1年以内償還社債	93,000	153,000
1年以内返済長期借入金	110,270	141,461
賞与引当金	86,614	89,578
受注損失引当金	—	1,521
その他	6,021	1,006
流動負債合計	633,894	765,469
固定負債		
社債	249,000	356,000
長期借入金	168,537	417,552
資産除去債務	48,108	48,126
長期未払金	24,284	20,021
その他	5,461	—
固定負債合計	495,391	841,699
負債合計	1,129,286	1,607,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,200	28,200
資本剰余金		
資本準備金	20,700	20,700
その他資本剰余金	112,072	112,072
資本剰余金合計	132,772	132,772
利益剰余金		
その他利益剰余金		
中小企業事業再編投資損失準備金	—	285,213
繰越利益剰余金	489,250	211,010
利益剰余金合計	489,250	496,223
株主資本合計	650,223	657,196
純資産合計	650,223	657,196
負債純資産合計	1,779,509	2,264,366

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日)	当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日)
売上高	3,771,096	3,779,316
売上原価	2,764,747	2,828,301
売上総利益	1,006,349	951,015
販売費及び一般管理費	933,708	942,826
営業利益	72,640	8,189
営業外収益		
受取利息	38	112
助成金収入	5,451	12,576
雑収入	505	1,657
匿名組合投資利益	—	21,698
営業外収益合計	5,995	36,044
営業外費用		
支払利息	2,973	3,028
社債利息	2,033	3,804
固定資産除却損	287	—
社債発行費	3,341	5,018
障がい者雇用納付金	2,400	—
支払手数料	11,955	—
その他	118	—
営業外費用合計	23,109	11,850
経常利益	55,526	32,382
税引前当期純利益	55,526	32,382
法人税、住民税及び事業税	426	1,805
法人税等調整額	16,979	11,003
法人税等合計	17,406	12,809
当期純利益	38,119	19,573

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		利益剰余金 合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	28,200	20,700	112,072	132,772	568,730		568,730	729,703	729,703
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	—	—	△117,600	△117,600	△117,600	△117,600	
当期純利益	—	—	—	—	38,119	38,119	38,119	38,119	
当期変動額合計	—	—	—	—	△79,480	△79,480	△79,480	△79,480	
当期末残高	28,200	20,700	112,072	132,772	489,250	489,250	650,223	650,223	

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		利益剰余金 合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	28,200	20,700	112,072	132,772	—		489,250	489,250	650,223
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△12,600	△12,600	△12,600	△12,600
当期純利益	—	—	—	—	—	19,573	19,573	19,573	19,573
中小企業事業再編投資損失準備金の積立	—	—	—	—	285,213	△285,213	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	—	285,213	△278,240	6,973	6,973	6,973
当期末残高	28,200	20,700	112,072	132,772	285,213	211,010	496,223	657,196	657,196

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日)	当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	55,526	32,382
減価償却費	19,109	17,537
のれん償却額	30,962	18,076
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28	△563
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,620	2,963
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	1,521
受取利息及び受取配当金	△38	△112
支払利息及び社債利息	5,007	6,832
社債発行費	—	5,018
匿名組合投資損益(△は益)	—	△22,264
助成金収入	—	△12,576
有形固定資産除却損	287	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△73,319	△4,048
前払費用の増減額(△は増加)	△21,049	△689
棚卸資産の増減額(△は増加)	16,844	6,927
仕入債務の増減額(△は減少)	4,759	△1,790
契約負債の増減額(△は減少)	1,604	8,690
未払金の増減額(△は減少)	4,881	△16,307
未払費用の増減額(△は減少)	7,856	12,724
預り金の増減額(△は減少)	3,130	17,996
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△515	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,019	8,996
その他	614	△1,280
小計	37,293	80,033
利息及び配当金の受取額	36	112
利息の支払額	△4,815	△6,680
助成金の受取額	—	12,576
法人税等の支払額	△594	△1,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,919	84,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△716	△1,680
無形固定資産の取得による支出	△3,540	△15,114
関係会社株式の取得による支出	—	△407,447
貸付金の回収による収入	431	440
敷金及び保証金の回収による収入	1,099	—
匿名組合出資金の払戻による収入	—	16,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,725	△406,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金による収入	50,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△137,885	△119,794
社債の発行による収入	170,000	294,981
社債の償還による支出	△91,000	△133,000
配当金の支払額	△117,600	△12,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,485	429,587
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△97,290	106,824
現金及び現金同等物の期首残高	1,094,073	996,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	996,782	1,103,607

## (5) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、IT関連サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	154.82円	156.48円
1株当たり当期純利益	9.08円	4.66円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	8.97円	4.60円

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	38,119	19,573
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	38,119	19,573
普通株式の期中平均株式数(株)	4,200,000	4,200,000
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	48,868	48,868
(うち新株予約権(株))	(48,868)	(48,868)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第3回新株予約権 新株予約権の数223,000個 (普通株式223,000株)	第3回新株予約権 新株予約権の数203,500個 (普通株式203,500株)

(注) 2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	650,223	657,196
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	650,223	657,196
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	4,200,000	4,200,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。